

令和4年度 皇學館中学校 入学試験問題（A日程）

国 語

問題用紙は六枚あり、問題は〔一〕から〔三〕まであります。

## 国語 (その1)

## 注意

… 字数を指示している問題は、すべて句読点を含みます。

〔一〕次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。(ただし、出題の都合上、表現を改変・削除した部分があります。)

暦こまをぱっと見たいときに使うのは、壁掛けカレンダーや卓上カレンダー、手帳。あるいは携帯などの電子機器を使う人がいまでは多いでしょうか。しかし、古来、暦を形に残す方法はさまざまでした。ホライズン・カレンダーなどもそのひとつです。そこには、これまで見てきた素晴らしい芸術要素が加わったカレンダーのように、アートと融合ゆうごうした美しい暦がいくつもあります。その代表とも言える暦を見てみましょう。

まずご紹介したいのが、紀元前一六〇〇年ごろの青銅器時代Aにつくられたと言われるネブラ・スカイディスク①です。これは一九九九年に旧東ドイツのネブラ村で盗掘によって発見されたのですが、非常に貴重なもののため情報をつかんだ考古学者がおり捜査そうさに協力し、闇市場やみでの売買をよそおって奪還だつかんするという武勇伝も残る遺物です。

現在は、ライプツィヒの近郊都市、ハレというところのザクセン・アンハルト州立先史博物館の目玉展示Bになっています。実は二〇〇五年の愛知万博で日本にやってきたので、運のよい方はご覧になっているかもしれません。

ネブラ・スカイディスクは毎日の日付を知るためのものではなく、ホライズン・カレンダーのように日の出と日の入りを表象したもので、円盤形をしています。形のイメージとしては、天体観測のときに使用する星座早見表などが近いでしょうか。これをネブラ村付近で使用すると、夏至げしと冬至とうじにおける日の出と日没の方向がわかります。

青銅に金箔きんぱくを施ほどこした造形が実に美しい逸品で、制作に使用された金と銅を分析ぶんせきしたところ、金はイギリスの南西端にあるコーンウォールというところから、銅はオーストリアにある東アルプスの鉱山から産出されたものだということがわかりました。紀元前一六〇〇年にはヨーロッパをまたいで広く交易がおこなわれていたことを示す材料にもなっています。

直径約三二センチメートルの青銅の円盤Cのなかには、三日月と満月、そして三二個の星が金箔であしらわれています。そのほかにも二〇センチメートルほどの曲線が縁ふちに二本施され、またもう一本、②のちに追加されたと言われる謎の曲線があります。実はこの謎の曲線は、古代エジプトのレリーフなどで有名な太陽の舟だと言われています。太陽は夜、西の空に沈んだあと、月が照らす夜の世界を舟でもう一回航行していると考えられています。それを太陽の舟といえます。古代エジプトのものがヨーロッパに伝えられており、各地でこれに似た造形を見ることができます。ここではただ単に抽象ちゆうしやう的な半円球であらわされていますが、これは宗教的な意味あいを含めてつけ加えられています。月や星は天文学的なもので宗教性はほとんどありませんが、この舟は宗教的なもので、後から追加された装飾そうじゆくとみなされています。

描かれた星々のなかのひとつにスバルがあります。日本ではななつ星と呼ばれることもある星で、三日月の近くに描かれています。このスバルに関して、古代バビロニアには「春の月に、スバルの近くに三日月しかあらわれなかつたら、閏月を入れよ」という碑文(石造りの柱などに刻まれた記念の文章)が残されています。

I 太陰太陽暦において二〜三年に一度不定期に挿入される閏月は、春にスバルの近くに三日月しかあらわれない年に入れる、という法則があったということです。ここから、ネブラ・スカイディスクは閏月の決定に使われていたという説もあります。

紀元前一六〇〇年代のヨーロッパにこのような機能Dをもち、さらに美的に装飾された暦があったということは、③人々をとても興奮させました。なぜかという点、ヨーロッパは古代エジプトや古代メソポタミアから見ると文明の遅れた地域とみなされてきたわけですが、ネブラ・スカイディスクの存在がそれをくつがえしたからです。美しい造形表現に加え、古代のエジプトやメソポタミアと同じような観念を共有していたことは、ヨーロッパの人々を熱狂させ、各地で展示が行われると数多くの人が鑑賞に訪れたといえます。

年代を考えると比較的新しいですが、古代文明でつくられた芸術的な暦としてはアステカの「暦石」も挙げることができま。一四世紀ごろからメキシコ盆地で栄えたアステカ文明の首都テノチティトラン(現在のメキシコシティ)で一八世紀に発見された暦石は、直径三・六メートル、厚さ約一メートル、重さ二四トンもある巨大な石造レリーフです。

メキシコの国立人類学博物館に展示されている実物の暦石は暦でありながら、その芸術的価値の高さから現代の私たちの目を引いてやみません。

II、日本にはネブラ・スカイディスクやアステカの暦石のような美術的価値の高い暦はなかったのでしょうか? 暦を直接展示するものとしては中世を待たなければなりません。暦にかかわるアーティスティックな壁画は残されています。みなさんもよくご存じの奈良県明日香村のキトラ古墳④に描かれた壁画です。

七世紀末〜八世紀はじめにつくられたキトラ古墳には、キトラ天文図と呼ばれる太陽や月の動きを円周Eで表象しているものと、青龍・白虎・朱雀・玄武という東西南北の方角をつかさどる四神、十二の方角と十二支を示す獣頭人身十二支像が描か

国語 (その二)

れています。彩色鮮やかで金箔もふんだんに使われた壁画です。

これは、当時の天文学的な知識を知る上では非常に貴重な資料です。というのも、実は現存する日本最古の暦である具注暦（日付に関する吉凶などを注記する、暦注を具えた暦）は六八九年暦であり、まさに同じ明日香村内の遺跡で発見されているのです。この時代の暦を作成するために使用された天文知識が残されたキトラの壁画は直接の暦ではありませんが、暦を考える上で美術的価値も資料的価値もたいへん高い貴重な素材と言えるでしょう。

（中村弘允「世界をよみとく『暦』の不思議」より）

問1 部A～Eの語のよみをそれぞれひらがなで書きなさい。

問2 部①「ネブラ・スカイディスク」は、約三六〇〇年前に作られた人類最古の天文盤と言われ、一九九九年、ドイツ中央部のネブラで発見されました。これについて、次の問いに答えなさい。

- どのような形をしていますか。本文中の語を使って三字以内で答えなさい。
- 使用されている金や銅の金属を分析した結果、わかったことは、さらにどのような事実を示していますか。本文中から三十五字で抜き出し、はじめと終わりの五字をそれぞれ答えなさい。

問3 空欄 I、II に入れるのに最も適切な語を次のア～エからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- |    |   |     |   |     |   |         |   |     |
|----|---|-----|---|-----|---|---------|---|-----|
| I  | ア | もし  | イ | つまり | ウ | にもかかわらず | エ | たとえ |
| II | ア | しかし | イ | だから | ウ | なぜなら    | エ | では  |

問4 部②「のちに追加されたと言われる謎の曲線」とほぼ同じ意味を表している語句を本文中から五字以内で抜き出して答えなさい。

問5 部③「人々をととても興奮させました」とありますが、その理由として最も適切なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア 古代のエジプトやメソポタミアで栄えた文明が現代のヨーロッパにまさっていることが証明されたから。
- イ 現代のヨーロッパにおいても美的に装飾された暦が受け継がれているという事実を知ることができたから。
- ウ 紀元前一六〇〇年代のヨーロッパが古代エジプトなどと同じような観念を共有していたことになるから。
- エ ネブラ・スカイディスクがあまりにすばらしい暦の仕組みによってヨーロッパの人々の心をとらえたから。

問6 部④「奈良県明日香村のキトラ古墳に描かれた壁画」とありますが、筆者はこの「壁画」をどのようなものとして評価していますか。本文中の表現を使って答えなさい。

問7 本文の内容をふまえ、あなたは私たち人類がこれまで「暦」を使って時を刻んできたことについてどのように考えますか。五十字以内で答えなさい。

国語 (その三)

〔二〕次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。(ただし、出題の都合上、表現を改変・削除した部分があります。)

帰り道、家の近所のコンビニに寄った。お父さんのために紙パックのリンゴジュースとカップのバニラアイス(高級なほう)をカゴに入れた。風邪のときに食べると、のどが冷たくて気持ちがいいと思ったから。

自分のぶんも買ったかったけれどお金が足りず、仕方がないので棒付きの安いアイスキャンディで我慢した。アイスキャンディは、いつでもわたしたちの味方だった。たとえ、果汁が一パーセントだったとしても。

コンビニから家まで約百メートル。

日射しはまだ強いけれど、それは真夏のものより薄まっている気がした。

もうすぐお父さんの誕生日だ。乙女座生まれなのが子どものころは恥ずかしかったと、前にお父さんは言っていた。

「ただいま」

家の中はひっそりとしていた。お母さんは、まだファミレスのパートのはずだった。

「入るよ」

お父さんたちの寝室のドアを軽くノックしてから開くと、お父さんが布団の中で「おかえり」と笑った。太陽の光がカーテンの隙間から差し込んでいる。西日のせいで部屋は蒸すのに、クーラーの温度は高めに設定してあった。お父さんは夏のタオルケットを胸まで引き上げていた。おでこには冷却シートを貼り付けている。

「学校終わったのか？ すいぶん寝てたんだなあ」

「どうなの」

「だいぶマシになってきた」

「熱、まだあるの？」

「さあ、どうだろう、下がってきたんじゃないかな」

お父さんの口のまわりには、うっすらとヒゲが伸びていた。六畳の部屋の中は「男の人」というよりオジサンにおいて充実している。

「アイス食べる？」

「アンナが買ってきてくれたのか？ 悪いなあ」

①「別に。わたしも食べたかったから」

お父さんはゆっくり起き上がり、カップアイスを受け取った。

お父さんがひとりアイスを食べるのが( A ) 思えて、わたしもその場でアイスキャンディの袋を破いた。

「座って食べればいいじゃないか」

お父さんは言った。

「いいの、このままのほうが楽だし」

座ってしまうと、いかにも看病してますという感じになって照れくさい。ドアのすぐ近くの壁にもたれて、わたしはアイスキャンディをかじった。

「うまいなあ、冷たくて」

( B ) アイスを口に運ぶお父さんは、いつもより歳とって見えた。コンビニでもらったプラスチックのスプーンじゃなく、家のスプーンを持ってきてあげれば良かったなと思った。

「お父さんって、今、何歳？」

「四十七」

「ふうん」

「中年だよなあ」

「まあ、そうだね」

「四十七歳になってるアンナって、どんなだろうな」

「ならないもん」

「どうして」

「なりたくないから」

「大人になるの、嫌か？」

「嫌。絶対、嫌。ぜんぜんなりたくない」

「そうか」

お父さんは少し笑った。( C ) ような気分になる。

「大人ってつまらなそうだから」

## 国語 (その四)

そう言ったものの、それではお父さんに悪いような気がして付けくわえた。

「でも中学もつまらない。早く高校生になって、ずーっと高校生のままがいい。大人にはならなくていい」

「そうだなあ、お父さんも大人になりたくないって、まだ思うことあるなあ」

お父さんは意外なことを言う。もう大人のくせして。

「大人になりたかった大人って、案外少ないんじゃないかってときどき思うんだよ。いつの間にか大人って呼ばれるようになっていて、結構みんなびっくりしてるんじゃないかなあ」

アイスクャンディが猛スピードで溶けはじめ、わたしは慌てて食べ終えた。<sup>②</sup>でも、まだお父さんの話を聞いていてもいいと思った。

「なあ、アンナ。ボージャーってわかるか？」

「ロケットの？」

「うん。ボージャーは、一九七七年、お父さんが高校生のときに打ち上げられた探査機なんだ」<sup>たんさぎ</sup>

「ふうん」

「あいつは太陽系のいろんな星のデータを地球に送りつけて、まだ宇宙を飛んでいるんだよ。そして今は太陽系をあとにして、未知の世界に向かって飛びつづけている」

「だから？」

③「そのボージャーにはレコードが搭載されているんだ」<sup>しゅうざい</sup>

「レコード？」

「うん。そのレコードには、六十何カ国のあいさつの声とか、動物の鳴き声、風の音、ほかにもいろんな地球のささやきが入っているんだよ」

お父さんの声は、風邪のせいがかすれている。ベッドの枕元には、空になったコップと、読みかけの小説が一冊置いてあった。

「なんのために？」

「なんのためだと思う？」

「さあ」

思い浮かばなかった。

「宇宙のどこかで、誰かが、それを見つけて聞いてくれるかもしれないって考えたのさ」

「誰かって……ひよっとして宇宙人？」

「まあ、そういうことさ」

お父さんは食べ終えたアイスクリームのカップの底を見ていた。

「アンナ、面白いと思わないか？ 大人なのにそんなことを考えるなんて」

「うん」

「大人なら、宇宙人がレコードを手にするなんて、おそろくないってことくらいわかるからね。でも、それをやってみようと思ったのは大人なんだ」

「小学生みたい」

「そうだな、そうなんだ。( D ) なんだ。お父さんも、自分があと少ししたら五十歳なんて信じられないときがある。つい最近まで十四歳だった気さえするんだよ」

「変なの」

「変だなあ。オヤジなのになあ。ほら、最近、頭もちょっと薄くなってきてるし」

お父さんは笑いながら横になった。まだしんどそうだった。

「もう寝たら。リンゴジュースも買って来たから」

「そうだな、ちょっと寝ようかな。うまかった、ありがとう」

リビングから新しい冷却シートを持って来てお父さんに渡すと、お父さんは、また「ありがとう」と言って目をつむった。

(益田ミリ「アンナの土星」より)

国語(その五)

問1 空欄(A)～(D)に入れるのに適切な語句を次のア～エからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- |              |          |          |          |
|--------------|----------|----------|----------|
| A: ア 不自然に    | イ かわいそうに | ウ ねたましく  | エ 心配に    |
| B: ア 目を細めて   | イ 首を長くして | ウ 鼻を鳴らして | エ 背中を丸めて |
| C: ア 気をつかわれた | イ はげまれた  | ウ バカにされた | エ 嫌われた   |
| D: ア 子どもみたい  | イ 宇宙人みたい | ウ 大人みたい  | エ 高校生みたい |

問2 —部①「別に。わたしも食べたかったから」とありますが、「わたし」がそのように答えたのはなぜですか。その理由として最も適切なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア 正直に言って父親のことがあまり好きではなかったから。  
イ アイスが食べたい口実として父親の風邪を利用していたから。  
ウ その場のなりゆきでつい心にもない嘘をついてしまったから。  
エ いかにも父親のためを思っているようで気恥ずかしかったから。

問3 —部②「でも、まだお父さんの話を聞いてもいいと思った」とありますが、それはなぜですか。その理由を簡潔に答えなさい。

問4 —部③「そのボイジャーにはレコードが搭載とうざいされているんだ」とありますが、何のために「レコード」が積み込まれていたのですか。その理由を「」と考えたから。」という表現に続くように三十五字以内で答えなさい。

問5 本文の内容をふまえ、あなたはどのような大人になりたいと思いますか。五十字以内で答えなさい。

〔三〕 次の問いにそれぞれ答えなさい。

問1 次の①～③の—部について、それぞれ漢字に直して書きなさい。

- ① さがしモトめる。  
② ケワしい道のりを行く。  
③ イキオいよく出発する。

問2 次の①～②の四字熟語があとの【意味】をあらわすように、共通して使われる漢字一字をそれぞれ答えなさい。

- ① ( ) ( ) 思 ( ) 愛: 【意味】互いにしたい合っていること。  
② ( ) ( ) 発 ( ) 中: 【意味】予想などがすべて当たること。

問3 次の作者と作品名との組み合わせとして正しいものを、あとのア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 芥川龍之介: 『羅生門』  
イ 夏目漱石: 『竹取物語』  
ウ 太宰治: 『老人と海』  
エ 遠藤周作: 『風立ちぬ』

国語(その六)

問4 次の①～④の各組の熟語のうち、組み立てが他と異なるものを、あとのア～エからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

- |   |      |      |      |      |
|---|------|------|------|------|
| ① | ア 動静 | イ 増減 | ウ 有無 | エ 上達 |
| ② | ア 頭痛 | イ 再現 | ウ 確保 | エ 予備 |
| ③ | ア 読書 | イ 知識 | ウ 卒業 | エ 離陸 |
| ④ | ア 未定 | イ 無害 | ウ 空想 | エ 非常 |

問5 次の①～⑤の文の一部のことばの意味に最も近いものを、あとのア～コから一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

- |   |                   |   |                            |
|---|-------------------|---|----------------------------|
| ① | 蛇足かもしれないが、伝えておくよ。 | ② | 兄はいつも自分は <u>大器晩成</u> だという。 |
| ③ | それではあぶはちとらずだ。     | ④ | 父は石橋をたたいて渡る性格だ。            |
| ⑤ | まもなく仕事にけりがつくころだ。  |   |                            |
- 
- |   |               |   |                               |   |            |   |        |
|---|---------------|---|-------------------------------|---|------------|---|--------|
| ア | たいへん用心深い      | イ | 余計なもの                         | ウ | 決着する       | エ | 見通しがつく |
| オ | 年をとってからみとめられる | カ | 逆効果                           | キ | 体力にめぐまれている | ク | 頑固だ    |
| ケ | どちらもだめになる     | コ | 危 <small>あぶ</small> なげなく安心できる |   |            |   |        |

問6 次の作品ア～オのうち、最もあとの時代に成立したものを一つ選び、記号で答えなさい。

- |   |     |   |       |   |      |   |      |   |     |
|---|-----|---|-------|---|------|---|------|---|-----|
| ア | 万葉集 | イ | 古今和歌集 | ウ | 竹取物語 | エ | 奥の細道 | オ | 枕草子 |
|---|-----|---|-------|---|------|---|------|---|-----|

問7 次の和歌の( )に入れるのに最も適切なものを、あとのア～エから選び、記号で答えなさい。

- ほととぎす 鳴きつる方を ながむれば ただありあけの ( ) ぞ残れる
- |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ア | 花 | イ | 鳥 | ウ | 風 | エ | 月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

問8 次のア～エの——部の敬語について、正しく使われているものを一つ選び、記号で答えなさい。

- |   |                                   |
|---|-----------------------------------|
| ア | 自分が <u>さきにめしあが</u> っていいですか。       |
| イ | 社長が <u>おまいり</u> になるまでしばらくお待ちください。 |
| ウ | わたくしが <u>ごらん</u> になる限り、間違いありません。  |
| エ | 先生が <u>おっしゃる通り</u> だと思えます。        |

問9 次のア～エの——部のうち、他と用法が異なるものを一つ選び、記号で答えなさい。

- |   |                            |
|---|----------------------------|
| ア | 人に見られても <u>気に</u> しない。     |
| イ | 留学先の学校で <u>歓迎</u> された。     |
| ウ | 昔のことが <u>なつかしく</u> 思い出される。 |
| エ | 申し込みが <u>ようやく</u> 受理される。   |

問10 次のア～エのうち、言葉づかいとして適切でないものを一つ選び、記号で答えなさい。

- |   |                      |
|---|----------------------|
| ア | おそらく明日は雲一つなく晴れるでしょう。 |
| イ | あの小説、全然おもしろいにちがいないよ。 |
| ウ | まさかそんなことが起こることはあるまい。 |
| エ | 万が一、君が勝ったら、約束は守るからね。 |

令和4年度 (A日程)

国語 解答用紙

(三)					(二)					(一)									
問9	問5		問4	問2	問1	問5		問4	問3	問2	問1	問7		問6	問4	問3	問2		問1
	⑤	①	①	①	①						A					I	(2)	(1)	A
																	はじめ		
											B								B
問10	問6	②	②	②	②										問5	II			
											C						)		C
																	終わり		
	問7	③	③	問3	③														D
											D								
	問8	④	④																E

と考えたから。

受験番号
得点